



喜小だより



令和4年2月17日発行 発行者 齋藤孝之

自ら学ぶ子 思いやりのある子 健康な子

一人一人がきらきら輝く喜連川小学校

春の訪れ・・・次の学年に向けて

立春を迎え、少しずつ暖かくなってきているように感じます。そのせいか、校庭の木々を見渡すと、ドウダンやサクラなどの樹木の枝の先に小さなつぼみが見られるようになってきました。春に向けて、着々と準備がされていることを感じます。

さて、12月に行いましたさくら市の学習状況調査の結果が、学校に戻ってきました。全体的に良くできており、どの学年のどの教科も全国平均を上回っています。特に算数は大きく上回っており、本校で行ってきた少人数指導やティームティーチングの成果が感じられました。この良い結果を得られたのも、子どもたちが落ち着いて学習に励んでいることが最大の要因であり、その子どもたちを励ましてくださっている保護者の皆様のおかげであると感じています。

先週の週末に「デジタル学習発表会」を実施させていただきました。いかがだったでしょうか。初めての取り組みであり、期間も短かったため急ピッチの準備となりましたが、子どもたちと保護者の皆様のふれあいの機会になったのであれば幸いです。



デジタル学習発表会に向けて

デジタル学習発表会を実施させていただきました。子どもたちは、この発表会に向けて発表資料を作ったり、発表練習をしたりしながら、準備を進めてきました。子どもたちも、先生方も、せっかく保護者の皆様に観てもらえる機会ということで、授業参観よりも緊張感を持って取り組んでいました。ただ、自分の発表が終わった瞬間には、頑張ったからこそ得られる達成感に満ちた笑顔が見られました。子どもたちにとっては、大きく成長できる機会になりました。



さくら市内の小中学校のホームページがリニューアルされました。トップのページが変わりました。ぜひご覧ください。

6年生による校長室訪問

1月24日(月)から2月28日(月)の日程で、6年生児童の校長室訪問を実施しています。新型コロナウイルス感染症が流行する前は、給食を共に食べながら歓談して過ごしていました。昨年度からは、給食が終了した時間から15分程度、4名ぐらいつつ校長室を訪問して歓談する活動を行っています。



中学校入学に向けて

6年生はきっと、中学校がどんなところなのか、どんなことに気をつけて過ごしたら良いのか、いろいろな不安をもっている時期です。3月に、実際に中学校の説明会がありますが、その前に、少しでも子どもたちの不安をなくすために、スクールカウンセラーの先生から話を聞きました。



理科展

1月21日(金)に、理科学研究展覧会の審査会がありました。主に、夏休みの期間中に研究をしてきた作品です。展覧会事態は中止になりましたが、本校の子どもたちの作品はラウンジに展示して、みんなで鑑賞しました。「金賞」に選ばれた作品もあり、見応え十分な展示になりました。



挨拶いっぱい 笑顔いっぱい
元気いっぱい

ノート名人

今年度2回目となります各クラスの「ノート名人」のノートを、ラウンジに掲示しています。見やすく、復習の時にも役に立つノートを作ることは、学習中に授業で習ったことを整理したり、友達の意見を参考にしながら自分の考えを書いたりして児童の思考力の向上にも役立つものです。各クラスのノート名人が増えています。



全校集会 2月15日(火)

全校集会として、表彰と校長講話を行いました。理科展覧会や各種書道展、さくらミュージアムの絵画コンクール等の表彰です。名前を呼ばれた入賞者は教室で起立し、代表者が多目的室で表彰を受けました。講話では、立春を過ぎて学習や生活のまとめの時期に入ったこと、姿勢や靴箱、時間を守ることを良くなっていることを話しました。



学校運営協議会 2月15日(火)

本年度3回目となる学校運営協議会を開催しました。今回は、保護者の皆様にもお世話になった学校評価アンケートの結果についてお知らせし、学校運営の方向性を確認しました。また、冬休みに皆様方に協力をいただいた「我が家のあいさつ標語」の応募作の確認を行いました。あいさつ標語は、約200の応募があり、今回は地域に広げたいあいさつ標語として10の作品を選びました。作品については、後日プリント等でお知らせいたします。

